

データロガー

セットアップガイド

GP0018 DGW03-020



1. 概要

GP0018は、株式会社コンテック製CONPROSYS M2Mコントローラ/M2MGatewayシリーズ(以下：コントローラ)を使用してSIRCセンサユニットのデータの受信および記録を行うことができるソフトウェアです。ソフトウェアは、株式会社コンテック製コントローラのオプションSDカード(以下：SDカード)に入っています。お客様にてアプリケーションプログラムなどを追加していただくことによりCONPROSYSに搭載されている多彩な機能をご使用できます。

DGW03-020は、ご購入後すぐにお使いいただけるようコントローラと電源をセットにしたデータロガーです。

SDカードには、プログラムファイルが含まれております。設定ファイルやログファイル等のファイル操作以外に、ディスクのフォーマットやパーティション変更等を行わないでください。SDカードはCONPROSYS専用です。デジタルカメラ等の他の機器への流用はしないでください。

◆ 対応機種一覧表

シリーズ名	型式
M2Mコントローラ コンパクトタイプ	CPS-MC341-ADSC1-111, CPS-MC341-ADSC1-931 CPS-MC341-ADSC2-111, CPS-MC341G-ADSC1-110 CPS-MC341Q-ADSC1-111, CPS-MC341-DS11-111
M2Mコントローラ スタックタイプ	CPS-MCS341-DS1-111, CPS-MCS341-DS1-131 CPS-MCS341G-DS1-130, CPS-MCS341G5-DS1-130 CPS-MCS341Q-DS1-131
M2M Gateway	CPS-MG341-ADSC1-111, CPS-MG341-ADSC1-931 CPS-MG341G-ADSC1-111, CPS-MG341G-ADSC1-930 CPS-MG341G5-ADSC1-931

◆ 対応ファームウェアの一覧表

シリーズ名	対応ファームウェア
M2Mコントローラ コンパクトタイプ	Ver3.7.6以降
M2Mコントローラ スタックタイプ	Ver3.8.8以降
M2M Gateway	Ver3.7.10以降

SDカードを使用するためには、コントローラのファームウェアが対応している必要があります。ファームウェアが対応していないバージョンの場合には、株式会社コンテックWebサイトより最新のファームウェアをダウンロード頂き、アップデートした後に本製品をご利用ください。ファームウェアのアップデート方法は『リファレンスマニュアル(ソフトウェア編)』を参照ください。

2. 関連マニュアルのご案内

コントローラに関連するマニュアルは以下のように構成しています。
本書と併せてご活用ください。

◆ 必ずお読みください

名称	用途	内容	入手先
セットアップガイド	SDカードをセットアップする時にお読みください。	セットアップに準備するものや接続、設置方法について説明しています。	SDカードに同梱(印刷物)
リファレンスマニュアル(ハードウェア編)	コントローラを運用する時にお読みください。	コントローラの機能、設定などハードウェアに関する説明をしています。	 株式会社コンテックWebサイトよりダウンロード(PDF)
リファレンスマニュアル(ソフトウェア編)	『CONPROSYS WEB Setting』を設定する時にお読みください。	『CONPROSYS WEB Setting』の各種設定方法について説明しています。	 株式会社コンテックWebサイトよりダウンロード(PDF)

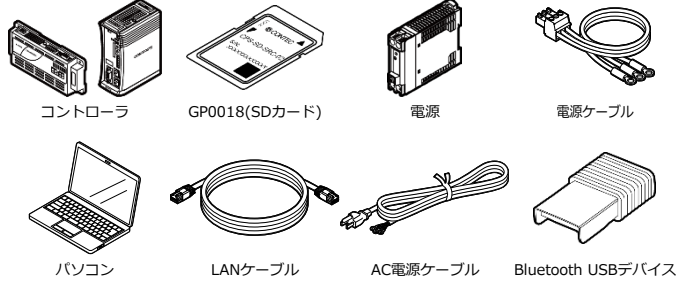
◆ 各種マニュアルのダウンロード

株式会社コンテック製品の各種マニュアルは、以下のURLよりダウンロードしてご使用ください。

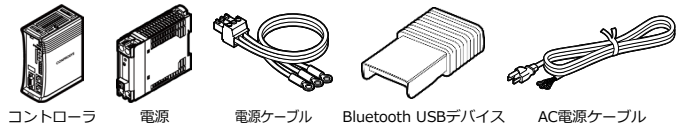
ダウンロード	https://www.contec.com/jp/download/
--------	---

3. ご用意いただくもの

M2Mコントローラと周辺機器の接続方法などについては、M2Mコントローラのマニュアルをご覧ください。本書では、M2MコントローラにBluetooth USBデバイスが接続されていることを前提として説明します。

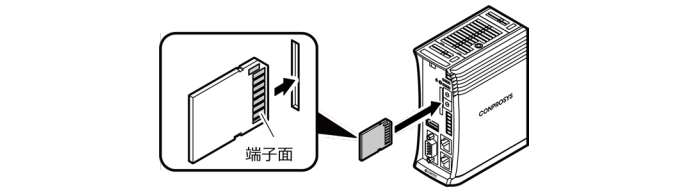


DGW03-020は、下記の製品が組み立てられたものとSDカードのセットです。



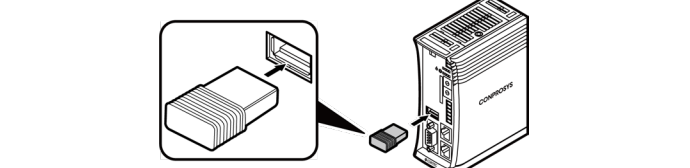
4. 準備

SDカードの端子面が下図の位置になるようにして、SDカードをSDカードスロットに挿入します。



※ SDカードを取り外す場合は『SDカードの挿入』と反対の手順で取り外してください。

Bluetooth USBデバイスをUSBポートに挿します。(DGW03-020は、挿さった状態で出荷しています)



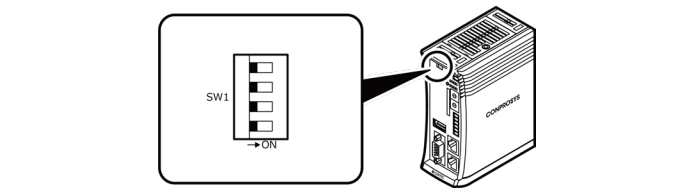
SDカード、Bluetooth USBデバイスの取り付け、取り外しは本体の電源を切った状態で行ってください。

SDカード、Bluetooth USBデバイスの取り付け、取り外しについては、『リファレンスマニュアル(ハードウェア編)』を参照ください。

5. コントローラの設定

コントローラの設定について、M2Mコントローラスタックタイプを例にとって説明します。詳細については、『リファレンスマニュアル(ハードウェア編)』を参照ください。

◆ DIPスイッチ

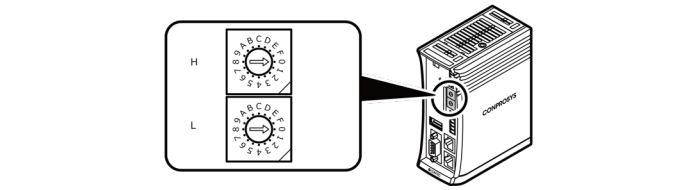


※ 出荷時の設定はすべてOFFです。

DIPスイッチの設定は『リファレンスマニュアル(ソフトウェア編)』を参照ください。

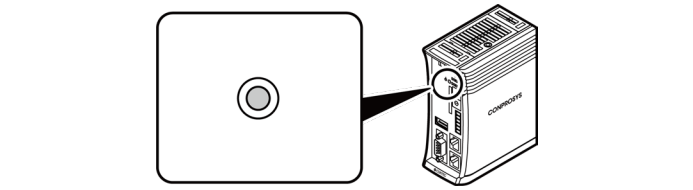
◆ ロータリースイッチ

IDのH、Lともに設定「0」で使用ください。



◆ パワースイッチ

コントローラの電源をコントロールします。

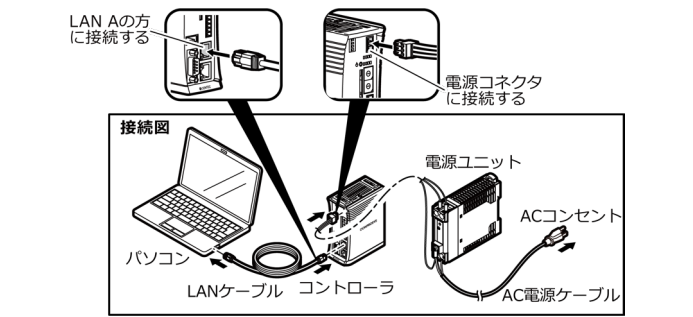


操作	内容
短押し	シャットダウン
長押し	リセット

6. パソコンとの接続

コントローラの各種設定を行うには、コントローラと接続するパソコンの通信を確立するために、ネットワーク設定を行う必要があります。
はじめに、コントローラとパソコンを接続します。

- 以下の接続図を参考にパソコン、コントローラ、電源ユニットを接続します。
※ 接続方法は『リファレンスマニュアル(ハードウェア編)』を参照ください。



- 電源ユニットをACコンセントに接続し、パソコンのスイッチをONにします。電源ユニットをACコンセントに接続してからコントローラの起動が完了するまで、しばらく時間が掛かります。(1 - 2分が目安です)

パソコンのネットワーク設定の方法は『リファレンスマニュアル(ソフトウェア編)』を参照ください。

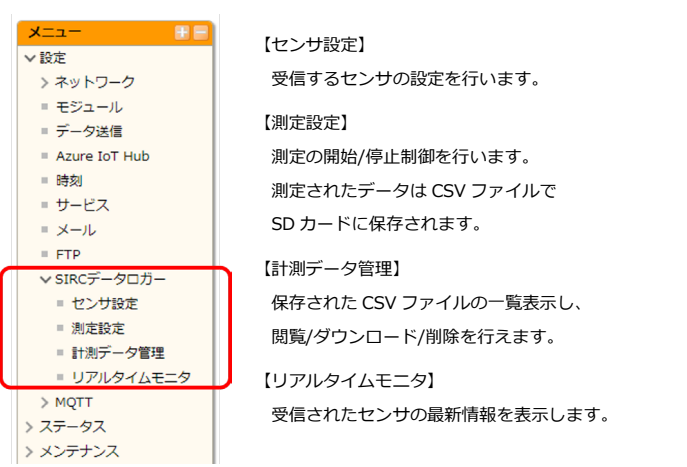
7. Web設定

パソコンとコントローラが起動したらWebブラウザを起動します。アドレスバーにコントローラのIPアドレス(10.1.1.101)を入力し、[Enter] キーを押すと、Webブラウザでトップページが表示されます。

CONPROSYS WEB Settingは以下のWebブラウザに対応しています。	
対応Webブラウザ	対応バージョン
Google Chrome	Ver. 52以降
Mozilla Firefox	Ver. 55以降

※ 対応Webブラウザ以外では動作に不具合が生じる場合があります。必ず対応しているWebブラウザをご使用ください。詳細は『リファレンスマニュアル(ソフトウェア編)』を参照ください。

トップページが表示されましたら、メニューの設定に“SIRCデータロガー”が表示されます。



“SIRCデータロガー”の下の階層メニューが表示されない場合は、パソコンブラウザのキャッシュが影響している場合があります。パソコンの【Ctrl+F5】を押してキャッシュ未使用でリロードしてください。

センサ設定

受信するSIRCセンサユニットの追加、削除を行います。
センサタイプ、機種コード、シリアル番号を設定することでそれに該当するセンサを受信します。測定中(ロギング中)は、センサ設定を行えません。

センサ設定

設定 > SIRCデータロガー > センサ設定

機種

CPS-SD-SRC-03

バージョン

1.0.0

+	No.	タイプ	機種コード	シリアル番号	計測範囲最小値	センサ最小値	計測範囲最大値	センサ最大値	タイムアウト	データ1名称
−	1	Normal	4	501	0	0	0	0	60	
−	2	Normal	4	502	0	0	0	0	60	
−	3	Normal	4	503	0	0	0	0	60	
−	4	Normal	4	504	0	0	0	0	60	
−	5	Legacy	0	1001	0	0	0.1	270	60	
−	6	Legacy	2	1501	0	0	200	65535	60	

確定リセット

項目	説明
+ボタン	ボタンを押すことでリストの最後にセンサが追加されます。
-ボタン	ボタンを押すと該当するセンサを削除します。
[確定]ボタン	ボタンを押すとSDカードに設定を保存し、受信するセンサが更新されます。
[リセット]ボタン	編集中の内容を元に戻します。 [確定]ボタンが押された場合、その前の状態には戻りません。
タイプ	SIRCセンサユニットの機種を指定します。 電力センサ：Normal 角度、電流センサ：Legacy
機種コード	SIRCセンサユニットの機種コードを指定します。 角度センサ：0 電流センサ：2または3 三相電力センサ：4 単相電力センサ：5
シリアル番号	SIRCセンサユニットのシリアル番号を入力します。
計測器最小値	角度/電流センサの場合、計測値の最小値を入力してください。
センサ最小値	角度/電流センサの場合、計測値が最小値である時のセンサ値を入力してください。
計測器最大値	角度/電流センサの場合、計測値の最大値を入力してください。

センサ最大値	角度/電流センサの場合、計測値が最大値である時のセンサ値を入力してください。
タイムアウト	SIRCセンサユニットからの信号を受信できないと判断するまでの時間を入力します。タイムアウト時、電池電圧の値は0になります。 デフォルト：60秒
データ1～6名称	センサから取得した各種データの名称を変更したい場合、設定します。

◆ 三相/単相電力センサの受信設定

“Normal”を選びます。

シリアル番号を入力します。

受信タイムアウト時間を入力します。

No.タイプ

機種コード

シリアル番号

計測器最小値

センサ最小値

計測器最大値

センサ最大値

タイムアウト

データ1名

データ6名

1

Normal

4

200104

0

0

0

0

10

使用するセンサに応じて機種コードを入力します。
三相電力：4，単相電力：5

CSVファイルのヘッダー名称を入力します。

データ名称が空白の場合は、CSVファイルのヘッダーは次の表に示すデフォルトの値となります。

データ1名称	積算電力量
データ2名称	有効電力
データ3名称	皮相電力
データ4名称	力率
データ5名称	電流
データ6名称	センサ情報

CSVファイルのヘッダー

時刻，ｼﾘｱﾙ番号_積算電力量，ｼﾘｱﾙ番号_有効電力，ｼﾘｱﾙ番号_皮相電力，ｼﾘｱﾙ番号_力率，ｼﾘｱﾙ番号_電流，ｼﾘｱﾙ番号_センサ情報，ｼﾘｱﾙ番号_電池電圧

ヘッダー名称は任意の文言を入力することができます。

No.タイプ

機種コード

シリアル番号

計測器最小値

センサ最小値

計測器最大値

センサ最大値

タイムアウト

1

Normal

4

200104

0

0

0

0

10

画面サイズによっては、すべてが表示されない場合があります。このような場合はスクロールバーによって表示する部分を移動することができます。

データ1名称

データ2名称

データ3名称

データ4名称

データ5名称

データ6名称

工程A_積算電

工程A_有効電

工程A_皮相電

工程A_力率

工程A_電流

工程A_センサ

ヘッダー名称にカンマやスペースなどの区切文字は使用できません。

◆ 角度センサの受信設定

角度を表示させる場合

“Legacy”を選びます。

シリアル番号を入力します。

受信タイムアウト時間を入力します。

No.タイプ

機種コード

シリアル番号

計測器最小値

センサ最小値

計測器最大値

センサ最大値

タイムアウト

データ1名

データ6名

1

Legacy

0

1038

0

0

360

360

60

機種コード“0”を入力します。

“0”を入力します。

“360”を入力します。

CSVファイルのヘッダー名称を入力します。

この表のように入力していただきますと、CSVファイルのヘッダーがこのようなになります。

時刻，ｼﾘｱﾙ番号_計測角度，ｼﾘｱﾙ番号_センサデータ，ｼﾘｱﾙ番号_データ名3，ｼﾘｱﾙ番号_データ名4，ｼﾘｱﾙ番号_データ名5，ｼﾘｱﾙ番号_データ名6，ｼﾘｱﾙ番号_電池電圧

データ1名称	計測角度
データ2名称	センサデータ
データ3名称	データ名3
データ4名称	データ名4
データ5名称	データ名5
データ6名称	データ名6

センサデータは、センサが送信しているデータで0～359の値を示します。センサからのデータを受信し測定値へと加工し計測角度として出力しています。計測角度に加工するとき、センサデータが330～359の場合は0としています。
ヘッダー名称は任意の文言を入力することができます。ただし、カンマやスペースなどの区切文字は使用できません。

圧力を表示させる場合

例としてゼロフルスケールが270°の圧力計に角度センサを取り付けた場合の設定方法を説明します。

ゼロ

フルスケール

“Legacy”を選びます。

シリアル番号を入力します。

受信タイムアウト時間を入力します。

No.タイプ

機種コード

シリアル番号

計測器最小値

センサ最小値

計測器最大値

センサ最大値

タイムアウト

データ1名

データ6名

1

Legacy

0

1038

0

0

0.1

270

60

圧力

機種コード“0”を入力します。

“0”を入力します。

角度が270°のとき0.1MPaを
ですので、“0.1”“270”
を入力します。

“圧力”を入力します。

ヘッダー名称は任意の文言を入力
することができます。
ただし、カンマやスペースなどの
区切文字は使用できません。

この設定を行うことで、センサから受信したデータを圧力へと変換し出力することができます。

◆ 電流センサの受信設定

AC(交流)電流を表示させる場合

“Legacy”を選びます。

シリアル番号を入力します。

受信タイムアウト時間を入力します。

No.タイプ

機種コード

シリアル番号

計測器最小値

センサ最小値

計測器最大値

センサ最大値

タイムアウト

データ1名

データ6名

1

Legacy

2

401

0

0

65535

65535

60

機種コードPCJ-14，PCJ-15は“2”，
PCJ-24，PCJ-25は“3”を入力します。

“65535”を入力します。

“65535.5”を入力します。

CSVファイルのヘッダー名称
を入力します。

ヘッダー名称が空白の場合は、CSVファイルのヘッダーがこのようなになります。

時刻，ｼﾘｱﾙ番号_計測値，ｼﾘｱﾙ番号_センサデータ，ｼﾘｱﾙ番号_データ名3，ｼﾘｱﾙ番号_データ名4，ｼﾘｱﾙ番号_データ名5，ｼﾘｱﾙ番号_データ名6，ｼﾘｱﾙ番号_電池電圧

データ1名称	計測値
データ2名称	センサデータ
データ3名称	データ名3
データ4名称	データ名4
データ5名称	データ名5
データ6名称	データ名6

データ3～6は使用しません。

CSVには、0が入力されています。

センサデータは、センサが送信しているデータで0～65535の値を示します。センサからのデータを受信し測定値へと変換し出力します。測定値は真の実効値を示し単位はA(アンペア)です。
ヘッダー名称は任意の文言を入力することができます。ただし、カンマやスペースなどの区切文字は使用できません。

DC(直流)電流を表示させる場合

“Legacy”を選びます。

シリアル番号を入力します。

受信タイムアウト時間を入力します。

No.タイプ

機種コード

シリアル番号

計測器最小値

センサ最小値

計測器最大値

センサ最大値

タイムアウト

データ1名

データ6名

1

Legacy

2

401

0

-3276.8

3276.7

65535

60

機種コードPCJ-14，PCJ-15は“2”，
PCJ-24，PCJ-25は“3”を入力します。

“-3276.8”を入力します。

“3276.7”を入力します。

CSVファイルのヘッダー名称
を入力します。

ヘッダー名称が空白の場合は、CSVファイルのヘッダーがこのようなになります。

時刻，ｼﾘｱﾙ番号_計測値，ｼﾘｱﾙ番号_センサデータ，ｼﾘｱﾙ番号_データ名3，ｼﾘｱﾙ番号_データ名4，ｼﾘｱﾙ番号_データ名5，ｼﾘｱﾙ番号_データ名6，ｼﾘｱﾙ番号_電池電圧

データ1名称	計測値
データ2名称	センサデータ
データ3名称	データ名3
データ4名称	データ名4
データ5名称	データ名5
データ6名称	データ名6

データ3～6は使用しません。

CSVには、0が入力されています。

センサデータは、センサが送信しているデータで0～65535の値を示します。電流が流れていないときは、センサデータは“32768”を示します。センサデータを測定値へと変換し出力します。測定値は平均値を示し単位はA(アンペア)です。
ヘッダー名称は任意の文言を入力することができます。ただし、カンマやスペースなどの区切文字は使用できません。

測定設定

CSVファイルへのデータを出力するための制御、設定を行います。次項に示します「計測データ管理」にてSDカード容量が5 0 %以上残っているかを確認してください。

SDカード容量が十分に残っていないと、測定開始ができなかったり、古いデータを上書きしたりします。

測定設定

設定

>

SIRCデータローガー

>

測定設定

測定状態

停止中

測定開始

測定設定

記録間隔

10

連続記録モード

Off

測定予約

Off

測定予約開始日時

年/月/日 --:--

測定予約終了日時

年/月/日 --:--

確定

リセット

項目	説明
[測定開始]ボタン	測定状態が“停止中”の時、表示されます。CSVファイルヘデータ出力を開始します。ファイル名は“実行時の日時.csv”になります。
[測定停止]ボタン	測定状態が“稼働中”の時、表示されます。CSVファイルヘデータ出力を停止します。
[確定]ボタン	ボタンを押すとSDカードに設定を保存します。測定状態が“稼働中”の場合、次回開始時から有効になります。
[リセット]ボタン	編集中の内容を元に戻します。 [確定]ボタンが押された場合、その前の状態には戻りません。
記録間隔	CSVファイルへのデータ出力時間間隔を設定します。
連続記録モード	SDカードがいっぱいになった時、Onに設定すると古いファイルを消してCSVファイルの出力を継続し、Offに設定するとCSVファイルの出力を停止します。
測定予約	Onの時、測定予約開始時刻になるとCSVファイルヘデータ出力を開始し、測定予約終了時刻になるとCSVファイルへの出力を停止します。
測定予約開始日時	測定予約開始時刻の設定を行います。
測定予約終了日時	測定予約終了時刻の設定を行います。

計測データ管理

SDカードに保存されているCSVファイルの一覧表示とダウンロード、削除を行います。SDカード内のデータは、環境や取扱いなどによって、消失または変化してしまうことがあります。取得したデータはすぐにダウンロードしSDカード内から削除しておかれることをおすすめします。

計測データ管理

設定

>

SIRCデータローガー

>

計測データ管理

SDカード容量

ディスク使用量

used: 634.27MB / 3.59GB (17.25%)

Used

Available

CSVファイル一覧

ファイル

すべて削除

20230218_014726.csv

ダウンロード

削除

項目	説明
[ダウンロード]ボタン	該当CSVファイルをダウンロードします。
[削除]ボタン	該当CSVファイルを削除します。
[すべて削除]ボタン	すべてのCSVファイルを削除します。
CSVファイル名	ファイル名をクリックするとCSVファイルの内容を表示する計測データ表示へ移ります。

ファイル名をクリックすると計測データが表示されます。

計測データ表示

設定

>

SIRCデータローガー

>

計測データ管理

>

計測データ表示

ファイル

20230120_133026.csv

ダウンロード

削除

時刻	501_積算電力量	501_有効電力	501_皮相電力	501_力率	501_電流	501_センサ情報	501_電池電圧	502_積算電力量	502_有効電力	502_皮相電力	502_力率	502_電流	502_センサ情報	502_電池電圧	503_積算電力量	503_有効電力
2023-01-20 13:30:27	419730	34	7	4.857	1.347	7	3.184	358005	29	7	4.143	1.347	7	2.653	271590	22
2023-01-20 13:30:37	543180	44	7	6.286	1.347	7	3.184	481455	39	7	5.571	1.347	7	2.653	395040	32
2023-01-20 13:30:47	666630	54	7	7.714	1.347	7	3.171	604905	49	7	7	1.347	7	2.653	506145	41
2023-01-20 13:30:57	790080	64	7	9.143	1.347	7	3.171	728355	59	7	8.429	1.347	7	2.653	629595	51
2023-01-20 13:31:07	913530	74	7	10.571	1.347	7	3.171	851805	69	7	9.857	1.347	7	2.653	735045	61

もどる

項目	説明
[ダウンロード]ボタン	該当CSVファイルをダウンロードします。
[削除]ボタン	該当CSVファイルを削除します。
[もどる]ボタン	計測データ管理へ移ります。

※CSVファイルサイズが大きい場合、表示に時間がかかります。

リアルタイムモニタ

受信されたセンサの最新情報を表示します。ホストコンピュータの種類やモニタの解像度の違いによっては、表示が欠けたり、かすれたりなどする場合があります。ブラウザのズーム設定の変更や[F5] および[CTL+F5] によるリロードで改善する場合があります。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

SIRC

Power Sensor Monitor

シリアル番号

501

積算電力量

6308295

有効電力

511

電池電圧

3.145 V

皮相電力

7

RSSI

-55 db

力率

73

センサ情報

7

電流

1.347

時刻

2023-01-20 13:38:22

センサからのBluetooth信号を受け取ることができない場合は、時刻が更新されません。

8. CSVファイル

SDカードに保存されている CSVファイルについて、以下に説明します。

フォーマット

[ヘッダ部]

時刻,XXXX_データ1名,XXXX_データ2名,XXXX_データ3名,XXXX_データ4名,XXXX_データ5名,XXXX_データ6名,XXXX_電池電圧,

例：

時刻,501_積算電力量,501_有効電力,501_皮相電力,501_力率,501_電流,501_センサ情報,501_電池電圧,

[データ部]

YYYY-MM-DD hh:mm:ss,AAAA,BBBB,CCCC,DDDD,EEEE,FFFF,

例：

2023-02-01 14:04:46,45466635,3683,7,526.143,1.347,7,2.925,

9. センサデータTAG/STAG割り当て

センサデータの設定内容、受信したデータ、工業値計算結果等はコントローラ内のデータ格納場所であるTAG(数値データ)、STAG(文字列データ)に記憶します。データロガーが使用しているTAG、STAGはTAG100～TAG299、STAG100～STAG299を使用しています。お客様にてアプリケーションプログラムなどを追加される場合、この範囲のTAG、STAGはご使用できません。

TAG0～99またはTAG300～、STAG0～99またはSTAG300～をご使用ください。

TAG	センサ	データ内容	電力センサ	角度・電流センサ
TAG100	センサ1	シリアル番号	←	←
TAG101		RSSI	←	←
TAG102		データ1	積算電力量	工業値変換データ
TAG103		データ2	有効電力	センサデータ
TAG104		データ3	皮相電力	0
TAG105		データ4	力率	0
TAG106		データ5	電流	0
TAG107		データ6	センサ情報	0
TAG108		電池電圧	←	←
TAG109		(F)	設定電圧	0
TAG110～TAG119	センサ2	センサ1同様	センサ1同様	センサ1同様
TAG120～TAG129	センサ3	センサ1同様	センサ1同様	センサ1同様
	：			
	：			
TAG290～TAG299	センサ20	センサ1同様	センサ1同様	センサ1同様

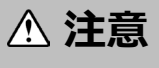
STAG	センサ	データ内容	電力センサ	角度・電流センサ
STAG100	センサ1	センサ名	Power	Angle/Current
STAG101		最新受信データ時刻	←	←
STAG102		データ1名称	“積算電力量”	“計算値”
STAG103		データ2名称	“有効電力”	“センサデータ”
STAG104		データ3名称	“皮相電力”	“データ3名称”
STAG105		データ4名称	“力率”	“データ4名称”
STAG106		データ5名称	“電流”	“データ5名称”
STAG107		データ6名称	“センサ情報”	“データ6名称”
STAG108		システム予約済		
STAG109		システム予約済		
STAG110～STAG119	センサ2	センサ1同様	センサ1同様	
STAG120～STAG129	センサ3	センサ1同様	センサ1同様	
	：			
	：			
STAG290～STAG299	センサ20	センサ1同様	センサ1同様	

10. 安全にご使用いただくために

次の内容をご理解の上、本製品を安全にご使用ください。

注意記号の説明

本書では、人身事故や機器の破壊をさけるため、次のシンボルで安全に関する情報を提供しています。内容をよく理解し、安全に機器を操作してください。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

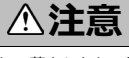
取り扱い上の注意

本製品は人の生命に直接関わる装置等(*1)や人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等(*2)を含むシステムに使用できるよう開発・製作されたものではありませんので、それらの用途に使用しないようにしてください。

*1 生命維持装置や手術室用機器といった医療用機器などを指します。

*2 原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム、集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システムなどを指します。

 警告
- お客様ご自身で本製品を修理、改造しないでください。火災、感電の原因になります。 - 煙が出たり、異臭がする場合は、ただちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブル等もコンセントから抜いてください。 - 塗れた手で本製品に触れないでください。ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

 注意
--

- 本製品は精密機器です。折り曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- 高温や低温の場所、また温度変化の激しい場所での使用、保存は避けてください。誤動作、発熱、故障、破損の原因になります。
- 直射日光のあたる場所や、ストーブなどの発熱する器具の近くでの使用、保存は避けてください。誤動作、発熱、故障、破損の原因になります。
- 強い磁界、電波を発生する機器の近くでの使用、保存は避けてください。誤動作、発熱、故障、破損の原因になります。
- 薬品が発散している空気中や、薬品にふれる場所での使用および保管は避けてください。
- 金属端子部を手や金属で触らないでください。故障の原因となります。
- 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。
- 使用しているメモリの特性上、書き換え回数に制限があります。書き換え寿命に関しては、実際のご使用条件により異なります。
- SD Memory Cardのアクセス中(書き込み時)に電源を切らないでください。データが破損する恐れがあります。
- ホスト稼働中に挿抜を行わないでください。
- 本製品は一方向にしか入らないように出来ていますが、無理な差し込みはしないでください。
- 本製品を分解や改造をしないでください。分解や改造をしたものに対しては、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を移動・譲渡する場合、本書を必ず添付してください。
- 本書の内容を全部または一部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もなお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店へご連絡ください。
- 購入後、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、前項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

廃棄

本製品を廃棄される場合、法律や市町村の条例に定める廃棄方法に従って、廃棄してください。

11. ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様と株式会社SIRC(以下「当社」といいます。)との間で、本製品に含まれるソフトウェアプログラム(以下「本ソフトウェア」といいます。)の使用許諾に関して合意するものです。本ソフトウェアを使用、又は本ソフトウェアをインストールした機器を使用することによって、お客様は本契約の各条項に同意されたものとさせていただきます。このお客様の同意をもって、本契約は成立し、効力を生じます。本契約に同意されない場合、本ソフトウェアの使用、又は本ソフトウェアをインストールした機器を使用することはできません。

第1条(知的財産権)

本ソフトウェア及びマニュアル等付属するドキュメント並びにその複製物(以下「本ソフトウェア等」といいます。)の著作権、特許権その他知的財産権は当社もしくは正当な権利者が所有するものであり、お客様には、本契約書において明示的に許諾されたものを除き、何らの権利も発生しません。

第2条(使用許諾)

1. 当社は、お客様に対し、本ソフトウェアに対応するコンテック社ハードウェア製品を使用する目的で、本ソフトウェアをインストール及び使用する非独占的な権利を許諾します。

第3条(利用の制限) お客様は、次の各号に定める行為を行わないものとします。

- (1)本契約に定める場合以外の本ソフトウェアから派生するソフトウェアの制作
- (2)本ソフトウェアの複製
- (3)本ソフトウェアの改変、翻案、逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング
- (4)本ソフトウェア上の権限の表示や商標の削除又は変更

第4条(免責)

1. 本ソフトウェアをダウンロード、インストール、使用又は利用した結果、ハードウェア又はデータに支障が生じた場合等、本ソフトウェアに起因し又は関連して損害が発生した場合であっても、当社は一切責任を負いません。本ソフトウェアを複製し、組み込み又は改変したソフトウェア及びこれらを使用又は利用して作成されたソフトウェアについても同様とします。

第5条(譲渡)

- お客様は、次の各号に定める条件を全て満たした場合に限り、本ソフトウェア及び本契約において許諾されたお客様の権利を第三者に対し、譲渡することができます。
 - (1)本契約書と共に本ソフトウェア等を全て当該第三者に譲渡すること
 - (2)本ソフトウェアがインストールされた当社のハードウェア製品の全てを当該第三者に譲渡すること
 - (3)譲渡を受ける方が本契約の条件に同意すること
- 前項の規定によって本ソフトウェア及び権利の譲渡がなされた場合には、譲渡を受けた方は、譲渡を受けたときからこの契約に拘束されるものとします。

第6条(契約の解除)

- お客様が本契約の各条項に従わなかった場合、当社は、お客様に対し、何らの通知・催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。
- 本契約の終了と同時に、お客様に与えられていた使用許諾は全て失われます。直ちに本ソフトウェアの一切の使用を中止し、破棄するものとします。

第7条(物理的欠陥について)

1. 本ソフトウェア等が格納されている記録媒体に本ソフトウェア等の使用に支障をきたす物理的欠陥があった場合、当社は、お客様が本ソフトウェア等をお受け取りになった日から30日以内にご購入いただいた販売店を通して記録媒体を交換するものとします。

第8条(輸出規制)

- 本ソフトウェア等を外国に持ち出すことはできません。
- お客様は、本ソフトウェア等を核兵器、生物化学兵器の設計、開発、製造若しくはミサイルの設計、開発、製造に使用するおそれがある個人又は法人に譲渡、輸出又は再輸出してはいけません。

第9条(準拠法)

1. 本契約は日本国法に従い理解、解釈されるものとします。

第10条(管轄の合意)

1. 本契約ないし本ソフトウェアに関して紛争が生じ、訴訟提起等の法的手続きが必要となった場合には、大阪簡易裁判所ないし大阪地方裁判所をもって、第1審の専属的合意裁判所とします。

第11条(契約の分離)

1. 本契約の一部の条項が無効とされ又は法的強制力を失ったとしても、その他の条項には影響を与えることなく、各条項は有効であり、法により許された範囲内で法的強制力を有するものとします。

SDロゴ、SDHCロゴは、SD-3C LLCの商標です。
本文中では、商標記号(™、®)は明記していません。

 
データロガーに関するお問い合わせ
株式会社SIRC 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町二丁目5番31号 本町寺田ビルディング https://sirc.co.jp/

CONPROSYS・ハードウェア・アプリケーション プログラムに関するお問い合わせ
株式会社コンテック 〒555-0025 大阪市西淀川区姫里3-9-31 https://www.contec.com/ テクニカルサポートセンター https://www.contec.com/jp/tsc/ E-mail : tsc@jp.contec.com TEL : 050-3786-7861 本製品および本書は著作権法によって保護されていますので無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。 NA09833 (LXDC181) [11062023] 2023年11月制定